



授業学修内容	<p>教育課程の役割</p> <p>まず、学習指導要領ができるまでの流れを知る。その上で、資料から今回の学習指導要領が作成された背景を学び、これからの社会を生きる児童にどのような資質・能力が求められるのか、またそのために教育課程はどのような役割りを果たすのかを知る。</p>		
授業外学修内容	<p>学習指導要領が作成されるまでの動きやそこで議論される内容を資料から振り返り、現在求められる資質・能力と教育課程の果たす役割についてまとめる。</p> <p>また、次の講義に向け「経験主義」と「系統主義」について調べる。</p>	時間数	3
4週目			
授業学修内容	<p>教育課程の類型とその背景</p> <p>教育課程とカリキュラムのとらえ方、経験主義と系統主義の特徴と違い、それぞれの考え方を背景とした主なカリキュラムの種類と内容を知る。</p>		
授業外学修内容	<p>デュイとブルーナーの考えや、主だったカリキュラム編成の目的や種類を復習する。また、第5週目の学習指導要領改訂の経緯について、各改訂ごとにその背景を引き続きまとめる。</p>	時間数	3
5週目			
授業学修内容	<p>学習指導要領改訂の経過</p> <p>調査してきた学習指導要領改訂の背景について、グループで発表・意見交換を行う。その発表内容から、各改訂の背景や特色を確認し、試案から新しい学習指導要領までの変遷についての理解を深める。</p>		
授業外学修内容	<p>各時代の背景や教育課程の特徴、学習指導要領改訂の経過について復習し、さらに関係図書などを読み認識を深めておく。また、次回に向け教育課程編成の手順について調べる。</p>	時間数	3
6週目			
授業学修内容	<p>教育課程の編成と諸要因</p> <p>教育課程は誰が、何を基準や参考とし、どのような手順で編成するのか、また編成に当たり押さえなければならない事項や要素にはどのようなものがあるのかを具体例を参考にしながら知る。その上で、編成された教育課程は学校でどのように実施されているのかを具体的な資料から読み解くとともに、教育課程の評価について学ぶ。</p>		
授業外学修内容	<p>「学習指導要領解説 総則編」に記載された教育課程編成の手順をまとめ、講義で扱った資料から学修内容を復習する。</p>	時間数	3
7週目			
授業学修内容	<p>指導計画作成における配慮事項</p> <p>学習指導要領総則から編成の概要を確認し、特に指導計画の作成等に当たっての配慮事項4点を取り上げ、学校は配慮事項を具体的にどう生かし教育課程を編成しているのかを実例により学ぶ。</p>		
授業外学修内容	<p>「学習指導要領解説 総則編」の「第2節教育課程の編成」についてまとめ、講義で扱った資料から復習する。</p>	時間数	3
8週目			
授業学修内容	<p>各教科等と道徳、外国語活動、総合的な学習の時間との関連</p> <p>児童が身に付ける資質・能力を踏まえた上で、各教科と①道徳教育及び特別の教科道徳の目標、具体的な指導内容などとの関連 ②外国語活動の目標や指導内容などとの関連 ③総合的な学習の時間の目標や指導の流れなどとの関連について具体的事例を通して学ぶ。</p>		
授業外学修内容	<p>講義で扱った各教科と他の教科、領域がどう関連付いているのかをまとめる。</p> <p>また、次時に向け特別活動の4つの内容について調べ、発表できるよう準備する。</p>	時間数	3
9週目			
授業学修内容	<p>特別活動と各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間などとの関連</p> <p>調査内容の発表後、特別活動の目標を、教育課程を通して育成する三つの資質・能力の観点から分析・把握する。また、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の各指導内容や特色について知る。その後、特別活動での学びが①各教科及び外国語活動②特別の教科道徳③総合的な学習の時間にどう生かされ、相互関連をもっているのかを学ぶ。</p>		
授業外学修内容	<p>講義で扱った特別活動と他の教科、領域がどう関連付いているのかまとめる。</p> <p>また、次時に向け主体的・対話的で深い学びについて調べ、発表できるよう準備する。</p>	時間数	4
10週目			
授業学修内容	<p>教育課程の実施1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善</p> <p>学習指導要領総則の解説で、主体的・対話的で深い学びの目指すものや、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」とはどのような要素をもつのかを確認する。その後、実際の指導事例の中にそれぞれの要素がどう位置付けられ授</p>		

	業がつくられているのかを学ぶ。		
授業外学修内容	講義で扱った主体的・対話的で深い学びの入った指導事例を再度分析し、レポートとして仕上げる。	時間数	5
11週目			
授業学修内容	教育課程の実施2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 言語環境の整備と言語活動の充実、コンピュータ等や教材・教具の活用、コンピュータの基本的な操作やプログラミングの体験、学校図書館、地域の公共施設の利活用は、主体的・対話的で深い学びとどのように関連づけるのかを実例を通して考えるとともに、指導に当たっての配慮点を知る。		
授業外学修内容	学習指導要領総則や講義での配布資料をもとに復習する。プログラミング学習については、試験的に行われている指導事例を収集する。	時間数	5
12週目			
授業学修内容	教育課程の実施3 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動、体験活動、課題選択及び自主的、自発的な学習の推進は、主体的・対話的で深い学びとどのように関連づけるのかを実例を通して考えるとともに、指導に当たっての配慮点を知る。		
授業外学修内容	講義での配布資料をもとに復習するとともに、学習指導要領総則に示された教科等ごとの具体的な取り組みをまとめる。	時間数	5
13週目			
授業学修内容	カリキュラム・マネジメントと学校課題の解決 カリキュラム・マネジメントの意義と三つの側面について理解した上で、これまでの教育課程についての学修を踏まえ、提示された学校の抱える課題の解決に対し、学校は教育課程をどのように編成・実施しながら解決しているのかを知る。また、カリキュラムの評価やその方法等について学ぶ。		
授業外学修内容	カリキュラム・マネジメントについて、講義資料をもとに復習するとともに、これまでの学修内容から、示された学校課題を教育課程を通してどう解決するのかを考える。	時間数	8
14週目			
授業学修内容	学校課題解決の演習(1) 前時に与えられた学校課題の解決に向けた教育課程の編成や実施について、各自のアイデアをグループ内で話し合いレポートとしてまとめ、グループごとに発表の準備をする。		
授業外学修内容	演習課題の解決に向け、各自から出されたアイデアをもとに検討し、グループで完成させる。また、作成したレポートの発表に向け準備する。	時間数	8
15週目			
授業学修内容	学校課題解決の演習(2) 作成したレポートにより各グループの発表を行う。その後、学生同士による質疑応答や協議を行い、最後に担当教員による評価を受ける。		
授業外学修内容	学生同士による協議や担当教員による評価を受け、レポートの修正等を行う。	時間数	5
上記の授業外学修時間の合計		63	
その他に必要な自習時間		27	

Number	EDU-1-038-j	Subject	Theory of Educational Curriculum(Elementary)		
Name	青木 博(Aoki Hiroshi)	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>The school has to formulate a curriculum to educate pupils .</p> <p>This curriculum has a standard. It is Course of Study. The contents which pupils learn in school , the school hours and other important points are directed in Course of Study.</p> <p>Through such lectures, we will learn the transition of Course of Study, elements of a curriculum formulation, consideration to be taken in designing lesson plans and so on.</p> <p>And at the end of this series of lectures, we will try to make plans to solve various school problems.</p>				

